



まなび舎

東京都立港特別支援学校長



岡戸 良雄

No. 6

災害に備えて（自助と共助）

9月1日は「防災の日」と定められています。これは昭和35年（1960年）に国民の災害に対する意識を高めるために制定されました。防災の日が昭和35年に決定された理由は、制定前年の「伊勢湾台風」が深く関係しています。「伊勢湾台風」は昭和34年9月26日に発生して、全国で大きな被害、なかでも愛知県・三重県にとっても大きな被害をもたらした台風でした。

もう一つのきっかけは大正12年（1923年）9月1日に発生しました、「関東大震災」です。関東大震災は、神奈川県・東京都を中心に、千葉県、茨城県、静岡県の広範囲でとても大きな被害をもたらしました。これらの災害をきっかけとして、防災の日を定め、国民全体で防災意識を高めて一人でも多くの生命と財産を守ることを目指しています。

「防災の日」は、暦の上で台風が発生するとされる「二百十日（にひゃくとおか）＝立春から210日」にあたり、ちょうど9月1日頃と一致します。とはいえ、9月1日に台風が多いということではなく、台風に備える「警戒期」と考えられています。実際に、7月～10月の期間（もっとも数が多く被害が大きいのは9月）で多く発生しています。地震や台風による被害など、天災がいつ発生するかは現代の科学をもってしても発災の時期を確定することはできません。

過去の災害から得た知識や経験を生かして、現代の防災に関する取り組みが進められています。港特別支援学校においても9月5日（金）に総合防災訓練を実施します。大規模な災害が発生した際に本校の生徒は自身の安全を確保する術を学びます（自助）。また自分の命を守るための知識や技能を身に付けるほか、家庭・地域と連携して、被災地や避難場所において救助活動できるための知識・技能も身に付けることも学びます。（自助・共助）。そして大規模災害が発災した際に港特別支援学校と御家庭がいかに連携して生徒の安全を守るかを訓練する予定です。

保護者の皆様には夏季休業前にお知らせしましたとおり、地震などで帰宅困難になった場合を想定して、保護者が本校まで訪れて生徒と共に安全に留意しながら帰宅する訓練を実施します。各御家庭におかれては御多忙のところ恐れ入りますが訓練の主旨を御理解いただき、お子様の引き取り訓練に御協力をお願いします。

今年は例年以上の猛暑に見舞われました。一日の最高気温が35℃を超える猛暑日も過去最高との報道がありました。9月1日以降もしばらくは厳しい暑さが続くことが予想されます。本校においては適切な空調の使用はもちろんのこと、屋外での活動においては暑さ測定器を利用して体調に影響を及ぼしそうな場合は活動場所を変更したり、場合によっては中断したりすることもあります。

また、御家庭のおかれましても、お子様の体調管理に努めていただければ幸いです。睡眠を十分にとることや朝食をしっかり摂ることなどは熱中症予防に大きな効果が期待できます。夏季休業中には、ややもすると休業前とは違った生活パターンとなり、新学期登校の際に心身に負担となることもあります。休業前の生活パターンに速やかに復帰できるよう、保護者の皆様、どうぞよろしく願いいたします。

学校からのお知らせ

令和7年度学校評価アンケートについて

今年度の学校運営及び教育活動において、振り返り、改善につなげるために、「学校評価アンケート」の御協力をお願いいたします。アンケートの配布及び御提出予定期間は以下のとおりです。

アンケートの配布日 : 令和7年 9月 29日（月）

アンケートの提出締切日 : 令和7年 10月 10日（金）まで